



多職種実践のPDCAサイクルを促進するF-SOAIIPによる好循環 ～IPWに有用なICT搭載と職能団体等への支援～

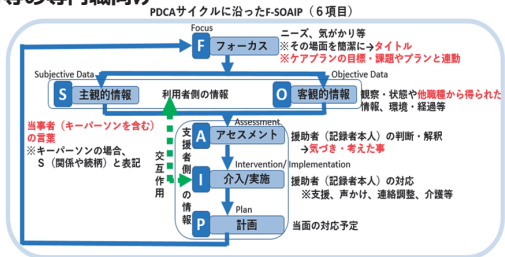
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻
 末 憲子 准教授

【研究分野】 ソーシャルケア、対人支援 多職種連携、地域包括ケア
 【キーワード】 F-SOAIIP、生活支援記録法、IPW、PDCA、質向上、マイクロ・メゾ・マクロ、ICT・AI
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pcid=198shima>



研究概要 医療福祉・教育等の専門職向け

効率的かつ効果的の活用が可能な経過記録として、F-SOAIIP（エフソ・アイピー）を開発しました。F-SOAIIPとは、①多職種協働によるマイクロ・メゾ・マクロレベルの実践過程において、②生活モデルの観点から、③当事者ニーズや観察、支援の根拠、働きかけと当事者の反応等を、④F-SOAIIPの項目で可視化し、⑤PDCAサイクルに多面的効果を生む、⑥リフレクティブな経過記録の方法である。（Ver.4、2019年11月）

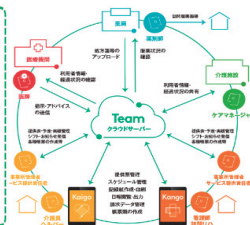


研究紹介

●文科省科学研究費補助金による研究代表者の他、AMED事業（代表：山口春保：認知症介護研究・研修東京センター）にて認知症BPSD予防のAI（KCIS）をテーマに、厚生労働科学研究費補助金（代表：上田敏文：名古屋市立大学大学院）にて保育領域（フレアーズ）のICTシステムへの搭載を進めています。厚生労働省HIPに「介護分野における生産性向上の取り組みを促進するツール」として、F-SOAIIPを取り上げた介護記録法の標準化（老健事業）の報告書が掲載・紹介されています。【F-SOAIIPの社会実装】



↑ 放送大学:高齢期の生活変動と社会福祉、260頁の図を修正



↑ 訪問リハビリテーション、第10巻、第1号、67の図



↑ フレアーズ: F-SOAIIPに基づくデータベース型記録システム(案)

講座テーマ紹介

●医療福祉専門職向け：F-SOAIIPによるIPWの促進～マイクロ・メゾ・マクロレベルでの活用～

アピールポイントなど

- F-SOAIIP研修：各都県の介護支援専門員協会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、社会福祉協議会、高齢・障害・医療等の法人、福岡県・政令市児童福祉司会等で実施してきました。
- ワークショップ等：日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本介護福祉学会、日本医療ソーシャルワーク学会等
- プレゼンテーション：自由民主党政務調査会データヘルス推進特命委員会 データに基づく科学的介護・栄養等WG（主査 小川克巳 参議院議員）／厚生労働省：社会・援護局、老健局、子ども家庭局
- 実践報告：『月刊ケアマネジメント』『訪問リハビリテーション』『看護管理』『臨床栄養』『認知症ケア』『住民行政の窓』『最新医療経営PHASE3』『おはよう21』等
- 生活支援記録法(F-SOAIIP)実践・教育研究所(共同代表者：国際医療福祉大学大学院特任教授 小嶋章吾)
<http://seikatsu.care> 本シーズの「自治体の地域共生社会向けシステムにF-SOAIIP搭載」もご確認ください。